

## 第 11 回国際薬物動態学会にてポスター発表

2016 年 6 月 12 日から 16 日に韓国の釜山で開催された「The 11<sup>th</sup> International ISSX Meeting」においてポスター発表を行いました。本学会では薬物動態学研究者が一同に集まり、薬物トランスポーター研究や薬物相互作用研究などの幅広い分野の研究発表が行われていました。

私は新規抗高尿酸血症化合物の生物薬剤学研究に従事しており、「豚ヘミン由来の新規抗高尿酸血症化合物の PK/PD 解析」という発表題目で発表しました。薬物が生体で吸収されてから薬効を発現するまでの過程において、薬物の吸収から排泄までを扱う学問である薬物動態学 (pharmacokinetics, PK) ならびに薬物の作用のメカニズムを解明する学問である薬力学 (pharmacodynamics, PD) を総合的に考えることが重要となっています。これらを統合する方法が今回行った薬物動態学的/薬力学的 (PK/PD) 解析であり、これにより得られた結果は薬物の用法及び用量設定の科学的根拠を提示し薬剤を適正に使用するために有用であると考えます。豚のヘミンから発見された抗高尿酸血症作用を有する新規化合物の単離・抽出から PK/PD 解析まで幅広い研究を手掛け、特にその生物薬剤学的解析において有益な知見を対外報告及び議論することが出来ました。

海外の国際学会での発表は初めての経験であったため英語での発表の難しさやプレゼンテーション能力を高める必要性を肌で感じるなど貴重な経験をすることができました。このような海外の国際学会におけるポスター発表で他の研究者の方と議論できた経験は今後の研究者としてさらなる飛躍につながると考えています。

薬食生命科学総合学府 薬科学専攻 薬物動態学教室  
博士前期課程 2 年 仁平 拓也

